

東大医科研細胞リソースセンター— 臨床細胞工学室の運用の歴史

1997.4. 開設

クリーンルーム

バイオハザードルーム

1997.7. 東京臍帯血バンク 細胞処理開始

1999. Melanoma(IV),樹状細胞療法

2001.4. 東京臍帯血バンク (東大医科研)

ISO 9002:1994取得(国内初！)

2002.8. クリーンルーム・P3分離改修工事

2003.4. 東京臍帯血バンク (東大医科研)ISO
9001:2000に更新

2004.10.東京臍帯血バンク・研究用幹細胞バンク
CPF(四つ木)開設(GMP)し 臍帯血バンク機能も移
設(この時点での凍結処理臍帯血は約4500例
分)血縁者間臍帯血保存は継続

2005.2.骨髄間葉系幹細胞による歯槽骨再生(10例)

2008.4. 研究用臍帯血幹細胞バンク(東大医科研細胞
リソースセンター)開始

2008.9.東京臍帯血バンク(医科研)細胞処理機能を
四つ木へ完全移行(約4,500u)

2010.3.東大医科研細胞リソースセンター(IMSUT-CRC)と改名

2010. 骨髄間葉系幹細胞による骨組織再生II期 承認

2011. 血友病患者間接軟骨再生療法 承認

2012. IMSUT-CRCに細胞保存部門設置

1998. P3 room 腎癌GM-CSF
遺伝子治療

2002.10. AIDS、樹状細胞療法
によるHEART療法の計画的
中断治療

